



## アクセスポイントの USB ポートの有効化

---

- [アクセスポイントの電源としての USB ポート \(1 ページ\)](#)
- [AP プロファイルの設定 \(CLI\) \(2 ページ\)](#)
- [アクセスポイントの USB 設定の設定 \(CLI\) \(3 ページ\)](#)
- [アクセスポイントの USB 構成の監視 \(CLI\) \(3 ページ\)](#)

### アクセスポイントの電源としての USB ポート

一部の Cisco AP には、一部の USB デバイスの電源として機能する USB ポートがあります。最大電力は 2.5 W です。USB デバイスが 2.5 W を超える電力を取り出すと、USB ポートは自動的にシャットダウンにします。消費電力が 2.5 W 以下の場合、ポートは有効になっています。AP のデータシートを参照して、AP に電源として機能できる USB ポートがあるかどうかを確認してください。



---

(注) コントローラは、最後の 5 つの電力の超過引き出しインシデントをそのログに記録します。

---



**注意** サポートされていない USB デバイスが Cisco AP に接続されている場合、次のメッセージが表示されます。

挿入された USB モジュールはサポート対象デバイスではありません。この USB デバイスの動作およびアクセス ポイントへの影響は保証されていません。シスコは、障害または欠陥が、顧客または再販業者が取り付けたサードパーティ製 USB モジュールを使用したことによるものと判断される場合、保証に基づくサポートまたは契約に基づくサポート プログラムの提供を差し控える場合があります。シスコのネットワーク製品をサポートを提供する過程で、トラブルシューティングの目的で根本原因を診断する上でサードパーティ製の部品を取り外すことがシスコに役立つと判断した場合に、エンド ユーザーはシスコがサポートする USB モジュールを取り付けるように求められることがあります。また、シスコは、当該サービスを提供した後に、製品の欠陥の根本原因はサポート対象外のデバイスによるものだったとシスコが判断したときに、シスコは、お客様に提供されるサービスのその時点で最新の実費請求レートをお客様に請求する権利を留保します。

## AP プロファイルの設定 (CLI)

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>configure terminal</b> 例： Device# <code>configure terminal</code>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	<b>ap profile ap-profile</b> 例： デバイス(config)# <code>ap profile xyz-ap-profile</code>	AP プロファイルを設定し、AP プロファイル コンフィギュレーション モードを開始します。  (注) 名前付きプロファイルを削除した場合、そのプロファイルに関連付けられていた AP はデフォルト プロファイルに戻らなくなります。
ステップ 3	<b>usb-enable</b> 例： デバイス(config-ap-profile)# <code>usb-enable</code>	各 AP プロファイルの USB を有効にします。  (注) デフォルトでは、各 AP プロファイルの USB は有効になっています。

	コマンドまたはアクション	目的
		<b>no usb-enable</b> コマンドを使用して、各 AP プロファイルの USB を無効にします。
ステップ 4	<b>end</b> 例： デバイス (config-ap-profile) # <b>end</b>	特権 EXEC モードに戻ります。また、Ctrl+Z キーを押しても、グローバル コンフィギュレーション モードを終了できます。

## アクセスポイントの USB 設定の設定 (CLI)

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>enable</b> 例： デバイス # <b>enable</b>	特権 EXEC モードを開始します。
ステップ 2	<b>ap name ap-name usb-module</b> 例： デバイス # <b>ap name AP44d3.xy45.69a1 usb-module</b>	AP の USB ポートを有効にします。  AP の USB ポートを無効にするには、 <b>ap name ap-name no usb-module</b> コマンドを使用します。
ステップ 3	<b>ap name ap-name usb-module override</b> 例： デバイス # <b>ap name AP44d3.xy45.69a1 usb-module override</b>	AP プロファイルの USB ステータスをオーバーライドし、ローカル AP 設定を考慮します。  <b>ap name ap-name no usb-module override</b> コマンドを使用して AP の USB ステータスをオーバーライドし、AP プロファイルの設定を考慮します。  (注) USB オーバーライドを有効にした場合にのみ、対応する AP の USB ステータスを設定できます。

## アクセスポイントの USB 構成の監視 (CLI)

- AP のインベントリの詳細を表示するには、次のコマンドを使用します。

**show ap name *ap-name* inventory**

次に、出力例を示します。

```
Device# show ap name AP500F.8059.1620 inventory
NAME: AP2800 , DESCR: Cisco Aironet 2800 Series (IEEE 802.11ac) Access Point
PID: AIR-AP2802I-D-K9 , VID: 01, SN: XXX1111Y2ZZZZ2800
NAME: SanDisk , DESCR: Cruzer Blade
PID: SanDisk , SN: XXXX1110010, MaxPower: 224
```

- AP モジュールのサマリーを表示するには、次のコマンドを使用します。

**show ap module summary**

次に、出力例を示します。

```
Device# show ap module summary
AP Name           External Module      External Module PID  External Module
Description
-----
AP500F.1111.2222  Enable               SanDisk               Cruzer Blade
```

- 各 AP の USB 設定の詳細を表示するには、次のコマンドを使用します。

**show ap name *ap-name* config general**

次に、出力例を示します。

```
Device# show ap name AP500F.111.2222 config general
.
.
.
USB Module Type..... USB Module
USB Module Status..... Disabled
USB Module Operational State..... Enabled
USB Override ..... Enabled
```

- USB モジュールのステータスを表示するには、次のコマンドを使用します。

**show ap profile name *xyz* detailed**

次に、出力例を示します。

```
Device# show ap profile name xyz detailed
USB Module           : ENABLED
```